

よろしくお願ひ致します。



関西学院千里国際 中・高等部 教諭

米田 謙三

- **関西学院千里国際中高等部 教諭 社会科・総合探究科
進路センター長主任・高1学年主任 (情報、英語 免許所持)**
- **文部科学省 教科 情報 高校学習指導要領**
- **総務省 青少年の安心・安全なインターネット利用環境整備に関する
タスクフォース委員・警察庁モラル**
- **経済産業省 未来の教室 STEAM WG 委員**
- **内閣府他 6省庁共催 高校生ICT カンファレンス実行委員長**
- **警察庁 児童のスマートフォン利用に関する効果的な広報啓発に関する研究会 委員**
- **教育委員会・教育センター・学校 セミナー・講演
(内容 探究、SDGs、ICT ・・他)**

講師：英検、TOEFL, benesse(Classi他)、CNNなど



関西学院千里国際中等部・高等部

自立・自律　そして　貢献

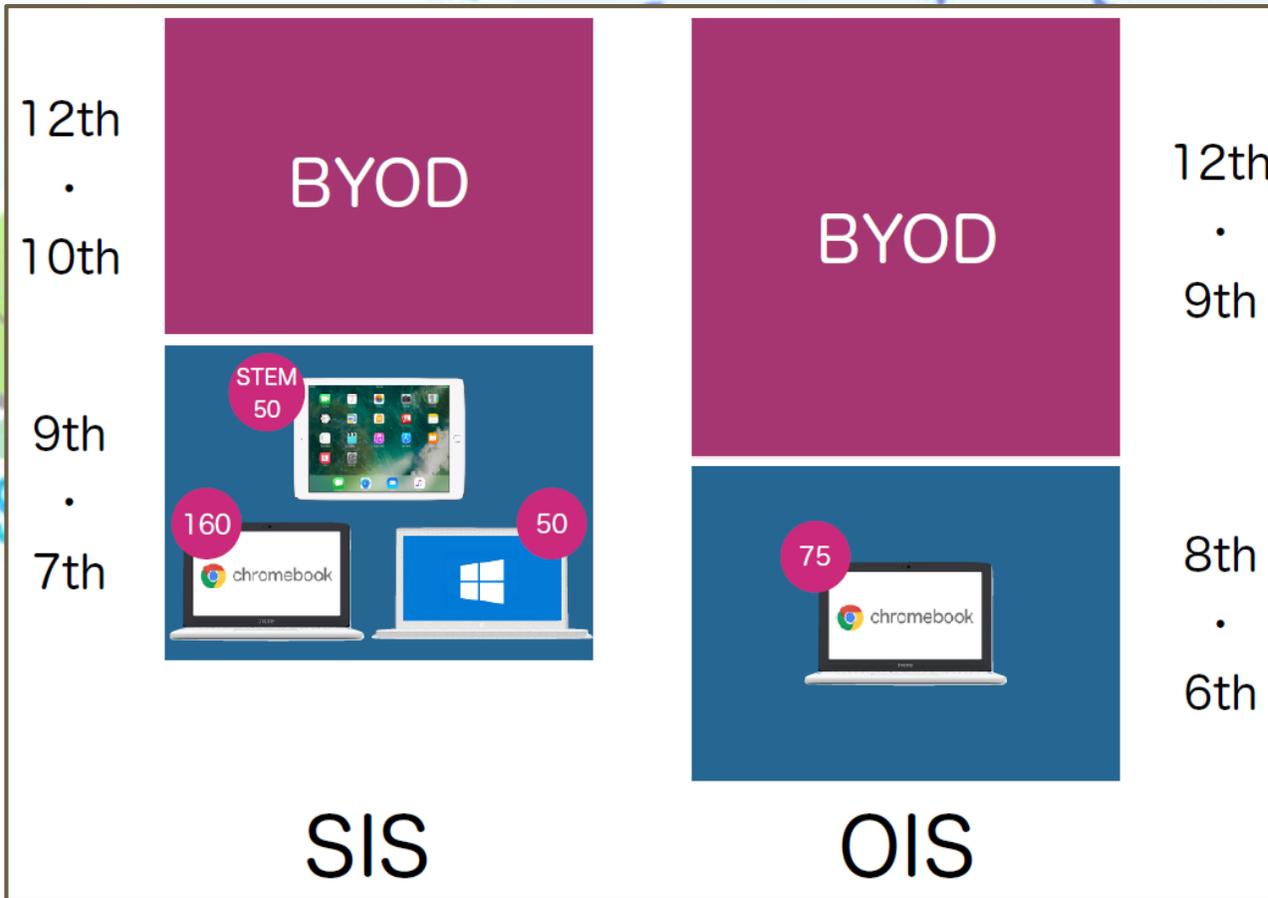
チャイムが鳴らない

考査の時間割はない・学期完結制

校則がない ⇒ 5つのリスペクト

高校生 ⇒ 一人ずつ違う時間割

SOISのデバイス・ネット環境



中学生
：貸出（学校）

高校生
：個人購入・所有

全員1台
Wifiに接続された
デバイス所持

2020年3月上旬
登校禁止
Distance Learning
遠隔教育開始

「学びを止めない」をテーマとした これまでの現場での取り組み

Step 1

休校中のマインドセット
を教員間で共有する

Step 2

学校(学年・個人)
としての学習支援の
方針を定める

Step 3

活用するデジタル
ツール、ルール、
教材等を決定し、
準備する

Step 4

学習支援の方針を
生徒・保護者に
共有する

Step 5

学習支援を開始し、
継続的に改善する
※分散登校、
1学期の成績

Step 6

学校再開後に実現
したい新しい学校の
姿を検討する

3月と4月のStudent's Voiceを受けて



95では、3月のStudent's Voice about the learning
234名（421名中）から回答がありました。上手いところが“Good Points”、改善が必要ところが“Not yet Points”です。4月からこのような学習スタイルが続くことを目指す

割と上手くいっている Good job us !

授業中ずっとMeetをつなぐのは止めましょう

▶ 同期・非同期のバランスを考えましょう

wifi環境が不十分な家庭があることを忘れないようにしてください

▶ 事前に動画を作成したり、繋いでいる間録画したりしましょう

自分以外の授業からヒントを得ましょう

▶ 授業実践をコミュニティ全体で共有しましょう
(生徒の記述コメントを全て分析し、教員1人ひとりにフィードバックを行った)

課題の量を再度検討しましょう

▶ 先生たち頑張りすぎないで、課題の一覧を見える化しましょう

本校の現状・取り組み

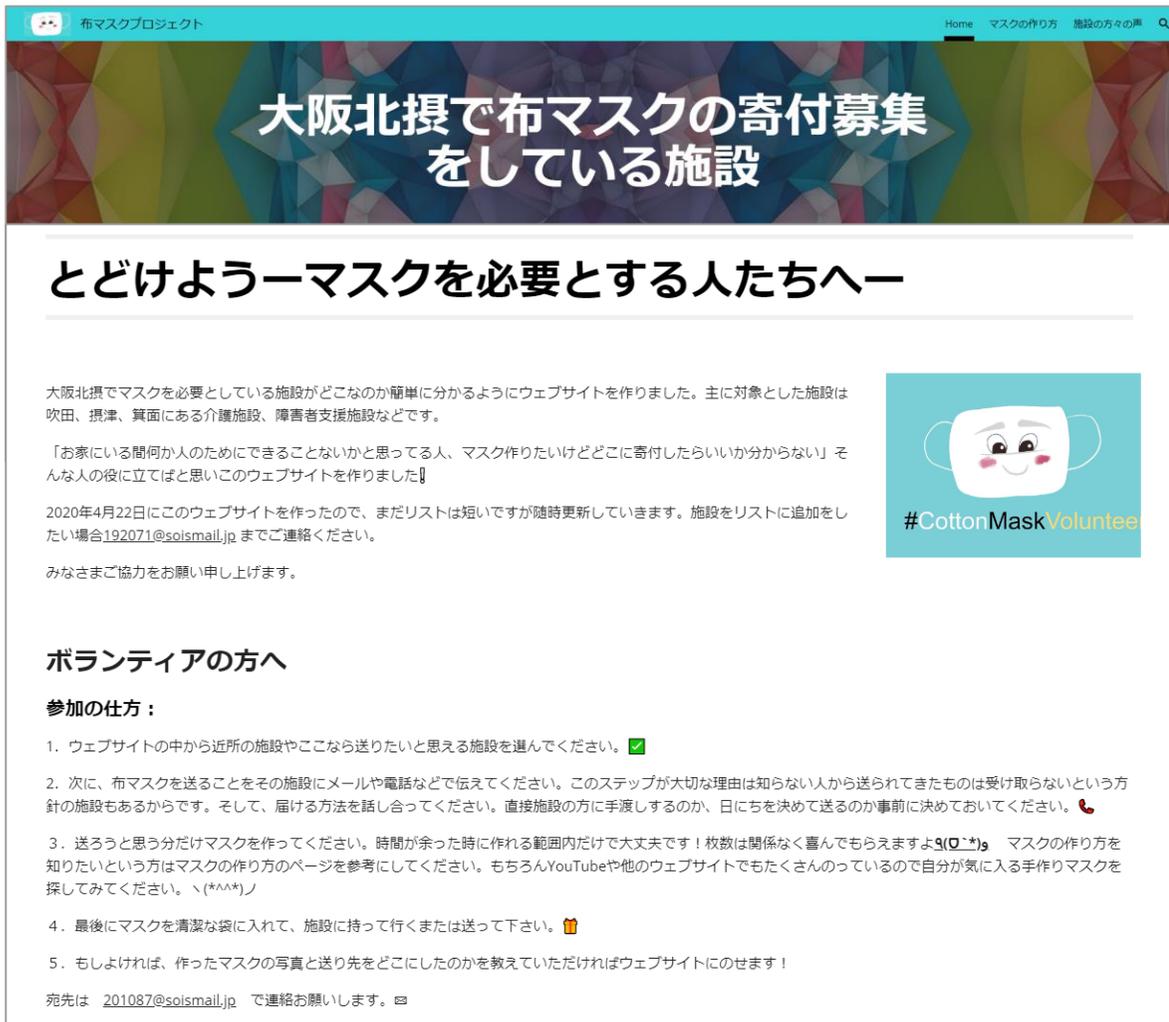


Distance Learningのための
ウェブページを立ち上げ

生徒/保護者向け、
教員向けに機能が分かれ、
一部は外部にも開放

<https://sites.google.com/soismail.jp/sisdistancelearning/home?authuser=0>

プロジェクト学習事例①



布マスクプロジェクト

Home マスクの作り方 施設の方々の声

大阪北摂で布マスクの寄付募集 をしている施設

とどけようーマスクを必要とする人たちへー

大阪北摂でマスクを必要としている施設がどこなのか簡単に分かるようにウェブサイトを作りました。主に対象とした施設は吹田、摂津、箕面にある介護施設、障害者支援施設などです。

「お家にいる間何か人のためにできることはないかと思ってる人、マスク作りたいけどどこに寄付したらいいかわからない」そんな人の役に立てばと思いこのウェブサイトを作りました！

2020年4月22日にこのウェブサイトを作ったので、まだリストは短いですが随時更新していきます。施設をリストに追加したい場合192071@soismail.jp までご連絡ください。

みなさまご協力をお願い申し上げます。

ボランティアの方へ

参加の仕方：

1. ウェブサイトの中から近所の施設やここなら送りたいと思える施設を選んでください。✔
2. 次に、布マスクを送ることをその施設にメールや電話などで伝えてください。このステップが大切な理由は知らない人から送られてきたものは受け取らないという方針の施設もあるからです。そして、届ける方法を話し合ってください。直接施設の方に手渡しするのか、日にちを決めて送るのか事前に決めておいてください。☎
3. 送ろうと思う分だけマスクを作ってください。時間が余った時に作れる範囲内だけで大丈夫です！枚数は関係なく喜んでもらえますよ👍(〇`*)、マスクの作り方を知りたいという方はマスクの作り方のページを参考にしてください。もちろんYouTubeや他のウェブサイトでもたくさんあるので自分が気に入る手作りマスクを探してみてください。ヽ(*^^*)ノ
4. 最後にマスクを清潔な袋に入れて、施設に持って行くまたは送って下さい。📦
5. もしよければ、作ったマスクの写真と送り先をどこにしたのかを教えていただければウェブサイトのにのせます！

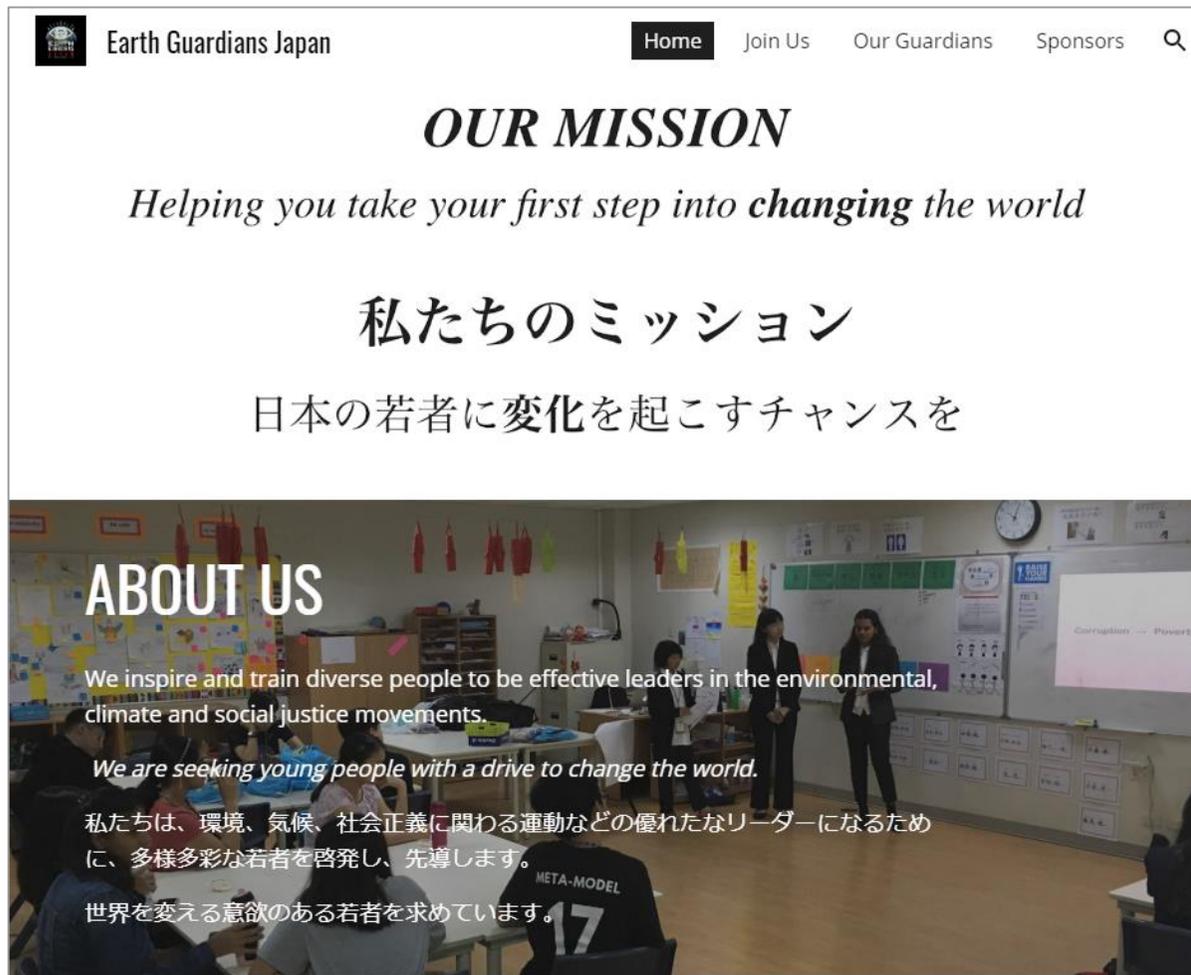
宛先は 201087@soismail.jp で連絡お願いします。✉

マスクを必要としている施設等の情報を集約

- 身近な地域の課題解決プロジェクト
- ウェブサイトを作るのは初めて、シンプルに制作することに集中

<https://sites.google.com/soismail.jp/cottonmaskvolunteer/home>

プロジェクト学習事例②



The screenshot shows the Earth Guardians Japan website. At the top, there is a navigation bar with links for Home, Join Us, Our Guardians, and Sponsors, along with a search icon. The main heading is "OUR MISSION" in a large, bold, serif font. Below it is the tagline "Helping you take your first step into *changing* the world". The Japanese text "私たちのミッション" (Our Mission) is prominently displayed, followed by "日本の若者に変化を起こすチャンス" (A chance for young people in Japan to create change). Below this is a photograph of a workshop or training session. In the foreground, several people are seated at tables, some with their backs to the camera. One person is wearing a black t-shirt with "META-MODEL 17" on it. In the background, two women in business attire are standing and talking. The room has a whiteboard with various charts and posters, and colorful streamers hanging from the ceiling.

Earth Guardians Japan

Home Join Us Our Guardians Sponsors

OUR MISSION

Helping you take your first step into *changing* the world

私たちのミッション

日本の若者に変化を起こすチャンス

ABOUT US

We inspire and train diverse people to be effective leaders in the environmental, climate and social justice movements.

We are seeking young people with a drive to change the world.

私たちは、環境、気候、社会正義に関わる運動などの優れたなリーダーになるために、多様多彩な若者を啓発し、先導します。

世界を変える意欲のある若者を求めています。

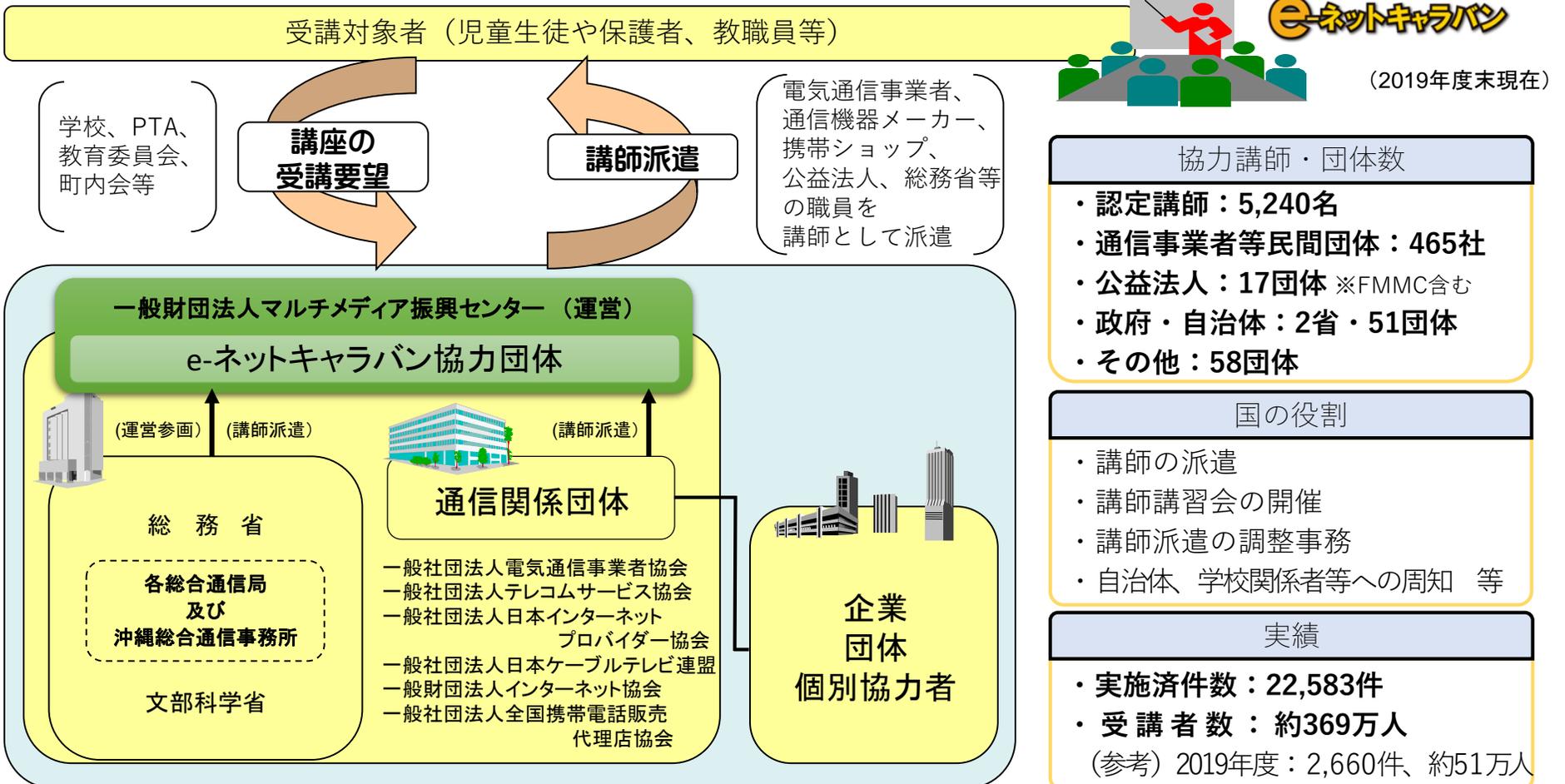
国際問題に立ち向かう
若者組織の日本支部
立上げ・情報発信

- 世界で300人のメンバーを持つ"Earth Guardians"の日本支部を立ち上げ
- WebサイトやInstagramを通じ発信

<https://sites.google.com/view/earth-guardians-japan/home?authuser=0>

e-ネットキャラバンの概要

- 2006年4月より、子どもたちのインターネットの安全な利用を目的に、インターネットの「影」の部分の存在も理解し、適切に対応可能とするための講座を、情報通信分野等の企業・団体と総務省・文部科学省が協力して全国で開催。
- 企業・団体は、無償で職員を講師に派遣する等、CSR(Corporate Social Responsibility: 企業の社会的責任)活動として参画。



対象層(学年)・講座時間・内容等

講座	『e-ネットキャラバン (e-ネット安心講座)』			2006.4～	2018.7～	『e-ネットキャラバンPlus』
対象	児童・生徒向け			保護者・教職員向け		
	小学生(中学年)向け	小・中学生向け	中・高校生向け	スクールカウンセラー向け「SNS解説」		
学年等	小学3年生～4年生	小学5年生～6年生 中学1年生(1学期)	中学1年生～3年生 高校1年生～3年生	保護者・教職員		
時間(目安)		45分	50分	60分～90分 60分の例 = 安心講座(40分)+Plus(20分) [概ね2:1の時間配分]		
内容	【個別テーマ】①ネット依存、②ネットいじめ、③不確かな情報の拡散、④誘い出し・なりすまし ※「基本的な内容」は同じです (表記が平易等の差異)			「危険の実態(事例)」「予防・対策」「心構え」 <small>(左記「e-ネット安心講座」の内容を前半で行った後、下記を解説)</small> 「スマホのフィルタリング、設定の概要」		
謝礼、交通費				2020.3～ 無料		
送迎	最寄駅から会場までの送迎をお願いする場合があります。					

学校現場から見たe-ネットキャラバンの良さ、メリット、課題など

メリット

- ・ネットに関わる問題や最新の情報を得ることができる。
- ・テキストやプレゼンテーションやビデオにより1～2時間程度の内容
オンラインやビデオオンデマンドなど多様な実施方法
- ・主催者側の希望に多様な講師が対応できる。カスタマイズも可能である
- ・総務省を含む 実施体制

課題

- ・実施地域の持続可能な体制作り
- ・どうしても光と影では 影にポイントが置かれる
- ・対象の年齢層の広がり 幼児から高齢者まで
- ・日程などの調整 参加者への周知徹底
- ・自分事化

のちほど スパイラルを提示して 課題を再度提示 (2枚あとのスライド)

本事業は事業者団体・企業・有識者・関係府省庁が連携し、青少年のインターネット利用環境整備を目指した事業として2011年より毎年度、開催。

開催目的

①教育的側面

初対面の人と話し合うという経験を通じ、「考え、まとめる、聞く、話す、見せる、伝える」などの技術習得

②社会的背景

インターネットやスマホ等を安心して安全に使うために自ら考え、実践することで、将来のよりよいインターネット利用環境の構築を目指す

高校生ICT Conferenceは、次世代の社会を支える高校生が、自ら考え、他者の意見を聴き、議論し、意見をまとめ、発表することにより、将来のインターネット社会に臨む環境整備の一助になることを目指す。

啓発活動における課題

- セミナーやシンポジウム形式に対する理解度・興味の薄れ
- 保護者層の参加率の低さ
- 自己責任に対する意識の希薄



- ネットが分からず対応できない保護者
- 操作能力が高く、安易にネットを利用する高校生
- 知識・経験が不足してトラブルに巻き込まれる小・中学生

大人からのおしつけでなく当事者の高校生が考える

負のスパイラルから正のスパイラルへ

「高校生ICT Conference」が持つ3つの意味

- 当事者である高校生自身の気づき
- 年少の子どもに行動できる高校生の育成
- 次世代の保護者の育成



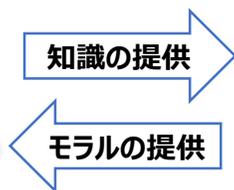
- リテラシーに加え、情報モラルを獲得した高校生
- 身の回りに小・中学生のよき相談相手
- リテラシーを持って子どものネット利用に目を配ることができる保護者



小・中学生



高校生



大人

2020年度テーマ

「新しい生活様式とICT活用法」～行動制限の時代に生きる～

(参考)

2014年度 「考えよう！これからのスマートなネットの使い方・あり方」

2015年度 「言いたい！イマドキのネットのルール&マナー！！～ 高校生のボクたちだから ～」

2016年度 「ネットトラブル！どうする？【予防】と【対策】～トラブルに巻き込まれないために、巻き込まれたら～」

2017年度 「高校生が考える心豊かな生活～ICT×（家族・学校・地域）～」

2018年度 「社会で活躍するためのICT活用法～18才成人化を控えて～」

2019年度 「人はなぜSNSを使うのか？～改めて考えるSNSの使い方～」

開催日程

● 各地域開催（9月～10月）

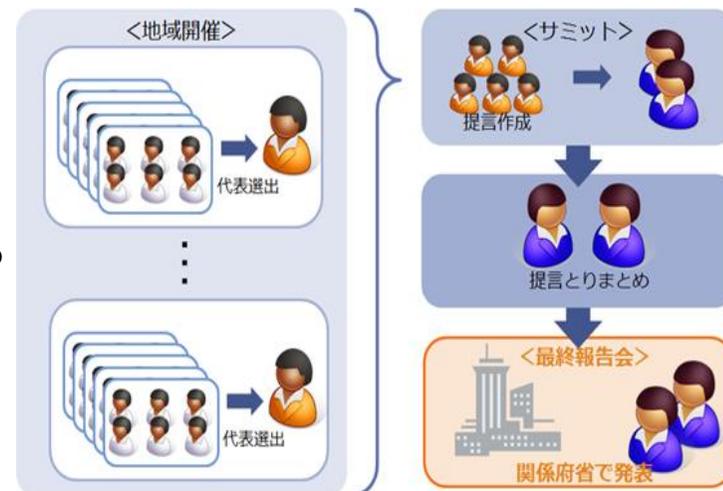
各地でワークショップ（議論を重ねる熟議方式）形式の議論を実施し、地域代表1名を選出。

● サミット（11月15日オンライン）

各地での議論をもとに、高校生が政府への提言をまとめるための討議を実施し、最終報告をする代表者を選出。

● 最終報告会（東京・12月10日）

共催府省庁に高校生からの提言を発表、意見交換。



2020年開催状況



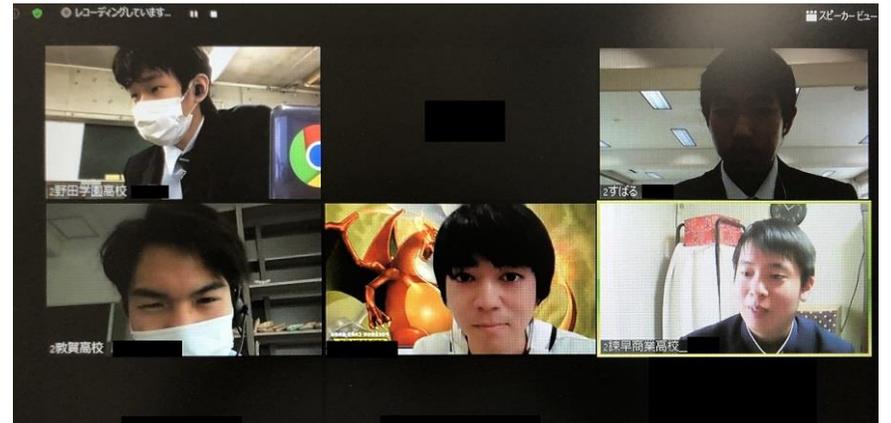
大阪開催



高知開催



大分開催

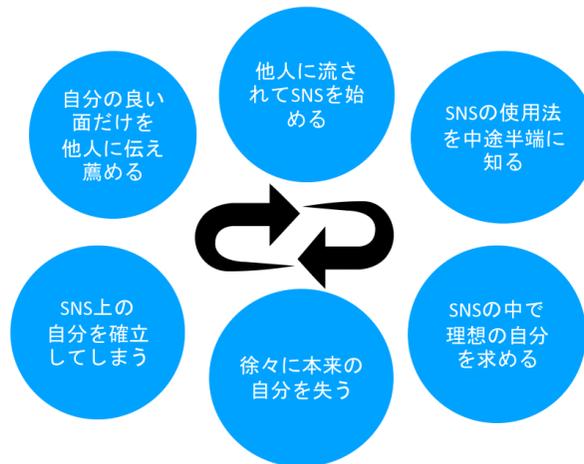


全国オンライン開催

SNSのデメリットは

悪循環

によって生まれている



高校生主体で
悪循環を解決するために

主体的な高校生が
そうでない高校生を巻き込み
SNSについて考える必要がある

提案

クラスディスカッション

クラスディスカッションとは...

- テーマ
- ・ SNS
 - ・ インターネット
 - ・ スマホ



周知



そのために・・・

高校生主体の
講演やカンファレンス

幅広い年代が参加可能

行政へ期待すること

- 我が国のICTリテラシーを高めるためには、将来のインターネット社会に臨む環境整備の在り方について、若年層の段階から主体的に検討し、行動する経験が必要。そのため、高校生ICTカンファレンスのような取組を積極的に支援していただきたい。
- 中高生に早い段階から社会人と接し、情報通信やデジタル政策に関心をもってもらうため、ぜひ講師役として総務省職員などに積極的に学校現場に来ていただきたい。また、中高生との積極的な交流を通じて政策的ニーズの抽出に努めていただきたい。
- e-ネットキャラバンは、学校現場でのICT利活用で教えられない内容を教えられる場として非常に有益。コロナ対策も踏まえ、オンラインかつ双方向で実施できる環境を整えていただきたい。また、教員や保護者の研修会とさらに連携していただきたい。

御静聴ありがとうございました